

しわネット

No.731

2007

11

平成 19 年 11 月 14 日発行
岩手県●紫波町
〒028-3390
紫波町日詰字西裏 23-1
印刷・川嶋印刷株式会社



とれたて、出来たて、実りの秋に感激



秋の恵みに感謝！10月はあちこちでイベントが開催されました。14日の山屋ふるさとまつりではマツタケをはじめとするキノコが山盛り。一方・フランス温泉館では稲藤一新そば祭で打ちたて750食が完売しました。20日には是信房のコスモスまつりが行われ、背の低い品種ポニーが一面を彩り、来場者の目を楽しませていました。



一緒に考えようまちづくりのこれから
地域の今と昔を学び、
ふるさを見つめ直そう 03

特集

産業まつり 06

平成 18 年度 町の決算状況 12

国民健康保険と老人保健の推移 14

環のくに「環境マイスター紫波です」 16

まんず食べよう！「食から築く紫波の未来」 20

元気はつらつ健康メモ「ジュースの糖分」 21

行ってみよう「白山神社」 24



喜べない収穫の秋

昔から収穫の喜びとしての祭りが盛大に行われていましたが、一人当たりの米消費量が減少し、生産調整もままならない状況から、結果として市場での米余り現象が顕著になっており、米貨の下落が激しく昨年より一俵当たり一千三百円も

安くなりました。また、昨年に引き続き力ムシ被害や大雨災害により農業所得が低迷し、さらに現在主力の転作品目となっております南部小麦も連作障害による減収が現れてきており、これらの課題にどう対応すべきか考える

と収穫の喜びも今ひとつさえない状況にあります。注目しなければいけないのは、経済財政諮問会議の動向です。「農業を補助金で保護するより、海外から安い農産物を輸入し、工業製品を輸出した方が国益につながる。農村が疲弊したのは農村に責任がある」との発言が多く聞かれます。国内で食糧を確保するのではなく、自由貿易で関税引

き下げや撤廃が懸念されております。このような状況から判断すると、米作中心から他の作物への転換を進め、農家所得向上を図る必要があると思われる。県の指導機関、農協、生産者が一体となって、高齢化時代でも持続可能な方式で、なおかつ現在ある集落営農組織体でできる作目形態を構築していかなければ

町の農業は生き残れないのではないだろうか。農業の持つ国土保全機能の維持や安全な食糧確保、引いては農家の所得向上の実現のために食糧自給率向上に向け、各機関一体となつて進めてまいりますので、関係各位のご協力をお願い申し上げます。

藤原 孝

女性に対する暴力をなくす運動週間

11月12日(月)～25日(日)

配偶者やパートナーからの暴力(DV)、性犯罪、売買春、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等女性に対する暴力は、犯罪行為をも含む重大な人権侵害です。

特に親しい間柄で行われる暴力(DV)は社会的認知度の低さから表面化しにくく、加害者も被害者さえもその犯罪性に気がつかないまま行われるケースが多くみられます。どんな間柄や理由であっても、暴力は決して許されるものではありません。

この機会に男性も女性も改めてお互いを尊重することの重要性を考えてみましょう。

一人で悩まないで
まずは相談！

相談窓口 福祉課 直通672-6864

配偶者やパートナーからの暴力による
支配に悩んでいませんか？

暴力にはさまざまな形態があります

●身体的暴力…

なぐる、ける、ものを投げつける、髪をひっぱる、首をしめる

●精神的暴力…

大声でののしる、何を言っても無視する、大切にしているものを壊す

●性的暴力…

見たくないのにポルノ雑誌やビデオを見せる、避妊に協力しない、性的行為を強要する

●経済的暴力…

生活費を渡さない、収入を取り上げる、外で働くことを妨げる

●社会的暴力…

手紙・電話をチェックする、行動を監視する、親や友人とのつきあいを制限する

(希望者にはDVのパンフレットを配布します)

問合せ 生涯学習課 ☎672-3362



シリーズ特集 第7弾

一緒に考えよう!
まちづくりのこれから

地域の歴史を学ぶことは自分のふるさとやルーツを見つめ直し、その良さを知ることにつながります。子どもたちが地域の今と昔を学び、古き良きものを大切にする心や、ふるさとに対する愛着をはぐくむ機会を与えてあげることが大切です。今回は、日詰小学校の郷土の歴史を学ぶ取り組みを取材しました。

地域の歴史を知って、ふるさとの魅力を学ぶ

地域の今と昔を学び、
ふるさとを見つめ直す

日詰小学校
6年生の
みなさん

紫波町のほぼ中央にある、町立日詰小学校（高橋セツ子校長、児童数四百四十四人）六年生のみなさんが、自分たちが暮らしている日詰の昔の姿を学びました。歴史を知った後は、実際に日詰商店街を歩き、今と昔の街並を比べたり、当時の名残を探したりしながら、自分たちのふるさとの良さを再認識しました。まずは、歴史の勉強風景からです。

聞いてみよう



身近な歴史に興味を示す児童



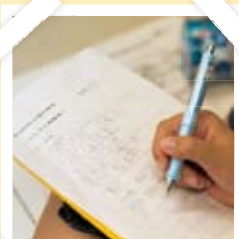
日本と日詰の歴史を対比

おしえてくれた人

講師
内城 弘隆さん



昔の日詰を表した絵や図を
スクリーンに表示



教科書にはない地元の歴史を書き留める児童



日詰の歴史を学ぶ

七月十日の三〜四時間目、教室に集まった六年生六十人が、講師の内城弘隆さんに日詰地域の歴史について教えてもらいました。

まず、日本の歴史の概要を、縄文時代から順を追って説明。平安時代に坂上田村麻呂が建てたといわれる城や神社が、今もいくつか残っていることが分かりました。

また、奥州藤原氏が栄えた平安時代末期、北上川沿いに多くの城があったこと。斯波氏によって建てられた「高水寺城」の跡が、今も城山公園で見られることが説明されると、子どもたちは声をあげて驚いていました。

江戸時代、南部氏の時代となった日詰は、奥州街道の重要な宿場町として繁栄。そのころの日詰商店街には大きな商

家がいくつもあったことが資料で分かり、子どもたちには驚きだったようです。「郡山」という地名や、「駅」の由来についても分かりやすく説明され、初めて知ることになった子どもたちの目が輝きます。明治時代になると現在の日詰の様子に近くなり、イメージしやすい様子でした。

授業の最後に、内城さんから「今日の勉強をきっかけに、自分たちの住む町に興味を持ち、調べたい課題を考えてみてほしい」との言葉がありました。

この授業のあと、子どもたちはグループごとに分かれ、自分たちの町を知るための課題を考えました。

さあ出発！ 日詰の町をじっくり歩く

十月十一日、前回の授業を受けて、郡山の地名の由来や歴史を選んだグループの七人が、良く晴れた秋空のもと、いよいよ日詰の町に出発します。

みんなを案内してくれるのは、NPO法人紫波みらい研究所会

歩いてみよう



商店街の道路が国道4号だったと説明



初めて知ったことはすぐにメモします

ありがとうございます！



おしえてくれた人



講師 中田 久敏さん

どの店も細長い作りが特徴



みんなの感想

鷹木優志くん

斯波氏が南部氏に敗れたということを初めて知り、勉強になりました。日詔商店街の家が細長い造りになっているところが面白かったです。

菅波聖さん

いろいろ知ることができてすごく勉強になりました。特に、役場西の国道4号が昭和40年代にできた道路と聞いて驚きました。

齋藤雄則くん

日詔商店街へ続く道は長いけど、旧国道全体が町だったということがわかりました。

工藤紗彩さん

昔は家の入口の広さで税金が決まるので、細長くなっているところ面白かったです。

員の 中田久敏さんです。まず、日詔や郡山の地名の由来や歴史の大きな流れ、高水寺城の歴史、江戸時代の日詔商店街の街並などについて、中田さんから説明を受けました。そしていよいよ、学校から歩いて日詔商店街へ向かいます。

藩政時代は北上川を利用した水運の町として栄え、多くの豪商が大きな商店を構えていた日詔。昔と今を見比べながら商店街を歩くと、かつての街並の名残を見ついたり、逆に、時代の変化がもたらしたものに気づくことがあります。子どもたちの新鮮な視点や発見に、中田さんも驚かされた様子でした。

また、昭和30年代には映画館があつて今よりもにぎわっていた

中田さんは子どもたちと一緒に町を歩きながら、「見慣れた風景の中に新しい発見ができるよう、自分たちのふるさとを見つめ直すこと」を期待しているようでした。ぜひ、みんなのおじいちゃんやおばあちゃんの話をもっと聞いてほしいとも。

昔を学ぶことで、古き良きものを残す心を育てたいという願い、ふるさとに愛着を持つてほしいという気持ちは、子どもたちにもしっかり伝わっているようでした。

まち並歩きから 気づいたことを大切に

ことや、七夕祭りなどで大勢の人が楽しんでいたことなどを、中田さんが話してくれました。

産業まつり

町の活性化を願い、
感謝の気持ちを込めて
秋空の下に開かれた

かつて宿場町として栄えた町は現在、
さまざまな産業が支えています。
秋風漂う十月十九日の金曜日から三日間、
町の商工業と農林畜産業が一堂に会する産業まつりが、
サンビレッジ紫波で開催されました。
土日は、にわか雨がちらつくあいにくの
天候でしたが、昨年より九百四十四人
多い延べ二万七千五百四十九人が訪れ
にぎわいました。



産業まつり会場を見ながら町の産業を紹介します。

町を支える産業

時代の先端に貢献する 町の技術力「工業部会」

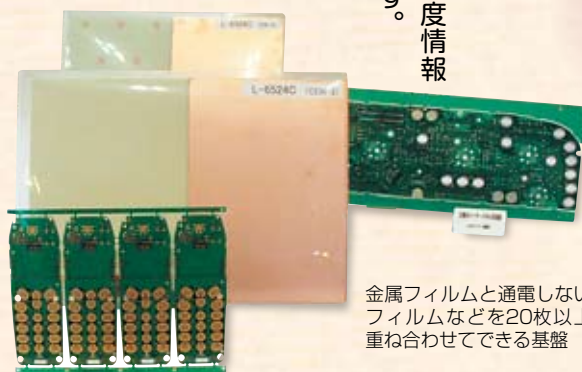
工業部会のコーナーから、携帯電話などの高度情報機器産業を支える企業の展示内容を紹介します。



それぞれの企業で取り扱う製品などを陳列

岩手ニッカン株式会社（従業員数七十五人、平成三年四月設立）は、電化製品や携帯電話などを使用する薄いフィルム状の基盤を製造しています。

ニチコン朝日株式会社（従業員三百人、昭和四十三年十二月設立）では、携帯電話やデジタルカメラ、デジタルビデオレコーダーなどに使われている小型電解コンデンサーを製造。



金属フィルムと通電しないフィルムなどを20枚以上重ね合わせてできる基盤

interview



紫波町商工会工業振興部会
部会長 塚田工業社長
塚田一郎 さん

工業部会では毎月、企業連携交流会を開き、会員となる異業種の各会社が集まり、毎回テーマを持っている討議しています。町内には、鉄、木、プラスチックなどのさまざまな素材を加工する企業があるので、知恵を出し合って一つの製品を作り上げたい。地元企業が集まり、地元で活躍する製品を作るのが目標です。

株式会社東北TKR（従業員二百六十人。昭和四十七年九月設立）は、他工場で作られた部品を組み立てカーナビやデジタルカメラ、携帯電話などの製品を完成品に仕上げています。



電子機器にはたくさんのコンデンサーが組み込まれる



これらの企業は近年需要が多く、高度情報化社会を支える先端企業の一翼を担っています。

このほかにも工業部会に在籍する日管電材工業株式会社、北奥機械株式会社、株式会社丸ノ内工業、古澤木型製作所、有限会社塚田工業、森田製作有限公司、有限会社佐々木製作所、菊池木工所、八重樫建具店、NCクラフト、小田島鉄工所、フクビハウジング株式会社、エヌケー紫波株式会社の展示品が並んでいました。



紫波の匠



阿部たみ店
代表 阿部廣さん

信頼できる仕事を心がけています。お客様に満足してもらえるのが何よりです。



紙の單車屋
切り絵師 石田義信さん

紫波町を切り絵の町にするのが夢。切り絵を通じて子どもたちの感性を育ててあげたいですね。買い与えるばかりでなく作らせることで創意工夫が生まれると思います。



わら細工
山屋の伊藤サエさん

産業まつりは3年目、小学校や地域へ何回か教えに行っています。皆さんの顔を見ながら実演するのを楽しみに毎年来ています。



炭焼き
佐比内の前川常雄さん

土釜で炭を作っています。特に竹炭は、遠赤外線やマイナスイオンを発生するので、湿布や消臭剤代わりにもあります。



職業訓練協会紫波支部
支部長 島山輝男さん(右から2人目)

大工や左官、板金、塗装、木工などの職人が技能向上のための基本を身につける技能検定取得を目指しています。手作りコーナーに来る子どもたちに、作ることの楽しさを伝えたい。



織物
佐藤智枝さん

さきおり、ホームスパン、シルクなどの作品を芸術祭にも出展しています。見学に来る皆さんとの交流を楽しみに参加しています。



紫波匠会
会長 女鹿隆一さん

大工42人で組織しており、こだわりの家造りをお手伝いします。お客様の希望どおりに建具なども作ります。



打ちたてのそばが人気の稲藤一のそば

商工会では、恒例のタイムサービス「どっさり市」を開催。食料品から電化製品まで格安価格で販売していました。また、二年ぶりとなったマグロの解体ショーは、大勢の客で人垣ができるほどの人気でした。

町内に十カ所ある産直からは大巻産直が出店。季節の野菜やきのこなどを販売していました。





大人気の野菜まき



アリーナ内の様子



保育所・児童館・幼稚園児によるステージ発表



上手に歩く子が多かった一升もち背負い



盛岡市 館澤さん

毎年来ています。野菜まきに参加してきました。会場を一回りしましたが、食べ物のお店が多く、小屋ハウスのお茶もち、菊の花や豆腐、漬け物などあれもこれもと買ってしまいました。また来年も来たいです。



盛岡市 吉田さん

もちまきや野菜まきがおもしろそうなので、孫と二人で電車に乗って初めて来ました。会場を見て歩くだけで楽しかったです。漬け物や団子などをお土産に買いました。



日誌 小峰さん

毎年楽しみにしています。今年はそば打ちを体験したくて来ました。平らに伸ばすのが難しかったです。つなぎに町産小麦のユキアカリを使っていると聞いて驚いています。持ち帰って家族と食べるのが楽しみです。

スタッフの声 直前インタビュー



紫波町商工会
高橋 亨さん
(株式会社高幸)

昔は宿場町として栄えた日詰ですが、大型店の進出もあって厳しい状況にあります。しかし、何もしなければ何も変わらないので、商工会では、日ごろお世話になっているお客様に対して感謝とお礼の気持ちで 27 年前にどっさり市を始めました。それとは別に町では産業まつりを中央公民館で開催していたのですが、町の活性化のために昭和 58 年から合同で開催するようになりました。当時は紫波運動公園を借用するときにさまざまな問題があって苦労しました。どっさり市は、サンビレッジ紫波で開催するようになった現在でも、産業まつりの中で継続しています。なるべく経費をかけないように知恵を絞り、少しでもお客様に還元できるように頑張っています。



紫波町商工会青年部長
吉田 浩さん
フラーショップ吉田

普段は自分の店でだけ働くので、こうしたイベントを手伝うことでお店間の交流が図られますし、それぞれの意識が高まり結束力が生まれると思います。今年はマグロの解体ショーを復活させましたし、初めて「野菜まき」を企画したので、町内外からたくさんのお客様が来て欲しいですね。商工会青年部では、桜まつり、夏まつり、冬まつり、ニジマス釣り大会などでも頑張っています。



七木田吉明さん
(紫波電設有限会社)

各テナントで使う電気の配線を担当しています。年々使用電力が増えているので、発電機を増設しなければ間に合いませんし、効率良く配電するためのバランスの取り方が難しいです。3 日間立ち会いますが、何事もなく無事終了すればいいです。

スタッフの皆さんご苦労様でした

町内外から大勢の来場者でにぎわいを見せた産業まつりは、テントの設営や夜間警備、駐車場係など多くのスタッフが汗を流していました。町としてもこの活力を絶やすことのないようこれからも産業まつりを、そして各産業を支援してまいります。イベントにかかわったスタッフの皆さん、大変お疲れさまでした。



土足で入場できるように、室内をビニールシートで覆い隠す作業



スタッフが開催前日から3日間泊まり込みで警備



IBCラジオが生放送



今年もつきたてのおもちが振る舞われた



そば打ち体験



盛岡市 吉田廉くん、美優ちゃん、稜くんの三つ兄弟
おじいちゃんとおばあちゃんの 5 人で来ました。ゲームとか、船の滑り台とかたくさん遊ぶことができてもおもしろかった。おもちも柔らかくておいしいです。



遠野市 海老子川さん
盛岡に行くときには必ず産直あかさわに立ち寄りますが、金貨入りもちまきのことをテレビを見て知り、初めて会場まで足を運びました。マグロの解体ショーも楽しみです。

町の財政状況について お知らせします

◇歳入、歳出ともに増加

平成18年度の決算額は、前年度と比較すると歳入が4億851万2千円、歳出が2億305万4千円それぞれ増加しています。

◇実質単年度収支は2億円の赤字

実質収支額（19年度に繰り越す財源を差し引いた額）は2億9940万5千円で、単年度収支（前年度の実質収支を差し引いた額）は7189万5千円の赤字となりました。

しかし、町の貯金とも言つべき基金を取り崩して行った事業も多く、実質単年度収支（単年度収支から基金の取り崩し額などを差し引いた額）は1億9985万4千円の赤字となりました。

歳入

■基金を取り崩し4億円増

歳入は繰入金の増加が目立ちます。これは、地方交付税が依然として減少を続けていること、実質公債費比率（P13参照）を抑えるため起債を控えたことなどによる歳入の不足から、基金を取り崩して補ったことによるものです。基金からの繰入金

や公共施設整備、まちづくり事業などに使われました。

その他の増減として、ききよう荘の指定管理者委託、ラ・フランス温泉館の改修に伴う休業により使用料が減額となりました。

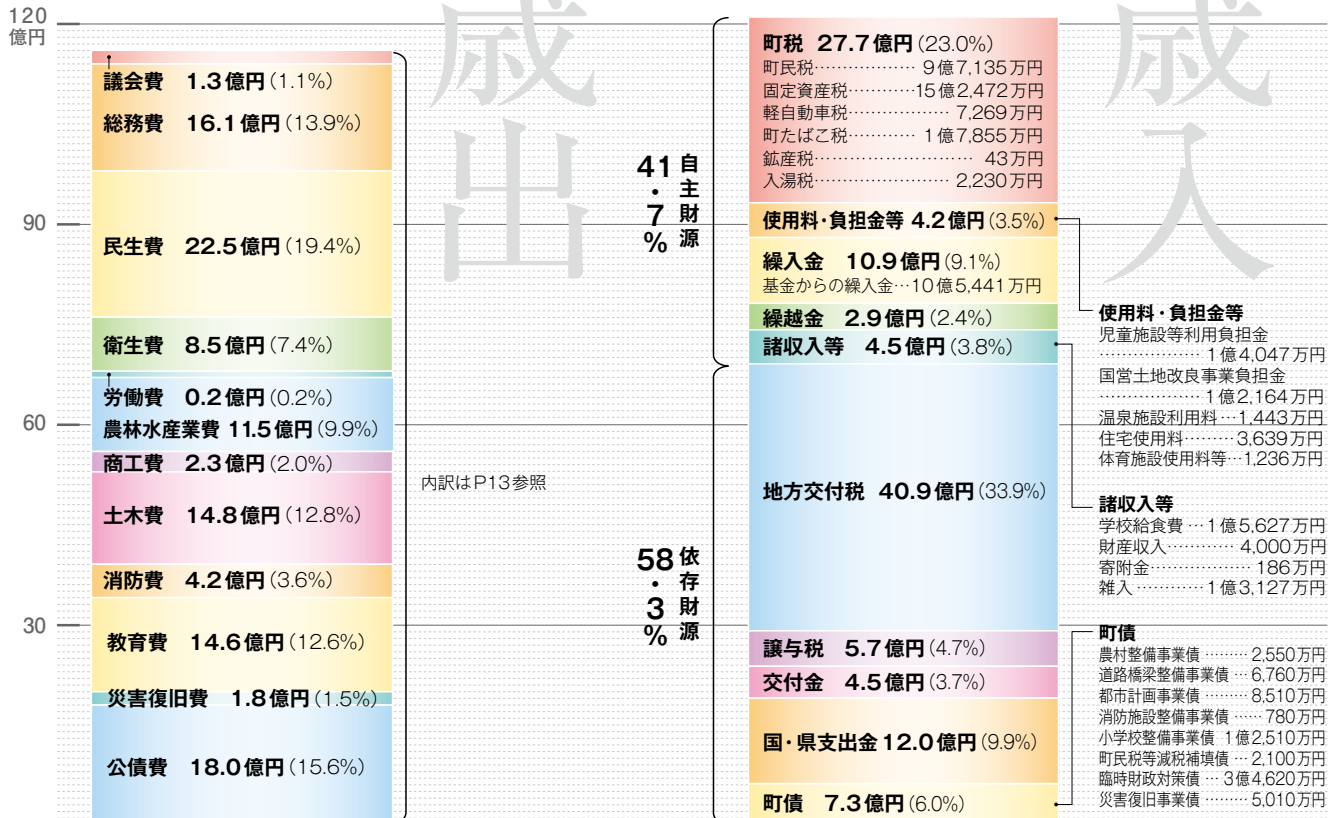
歳出

■昨年度比2億円増

主な増加の要因として星山小学校

115億7,039万円

120億6,657万7千円



の校舎建設や道路凍上災による災害復旧費、平成9年に借りた日詰西地区の公共用地先行取得等事業債の償還のため特別会計へ3億円を繰り出したこと、ラ・フランス温泉館の改修工事などがあげられます。また、児童手当制度の改正などにより民生費も増加しています。民生費は年々増加しており町の支出のおよそ2割を占めています。

経常収支比率93%
実質公債費比率23%

経常収支比率は、町税や交付税のように毎年度経常的に入ってきて自由に使える財源が、人件費や扶助費、公債費など毎年度必ず支出することが決まっている経常的経費に使われた割合です。この割合は70%以内が望ましいとされています。この割合が高いと政策的な支出にお金をまわす余裕がなくなり、財政の硬直化が進んでいるということになります。

また、実質公債費比率は一般会計だけでなく下水道会計などに一般会計が負担した分も含めた町全体としての公債費負担の割合のことで、この比率が18%以上になると地方債を発行するのに許可が必要になります。

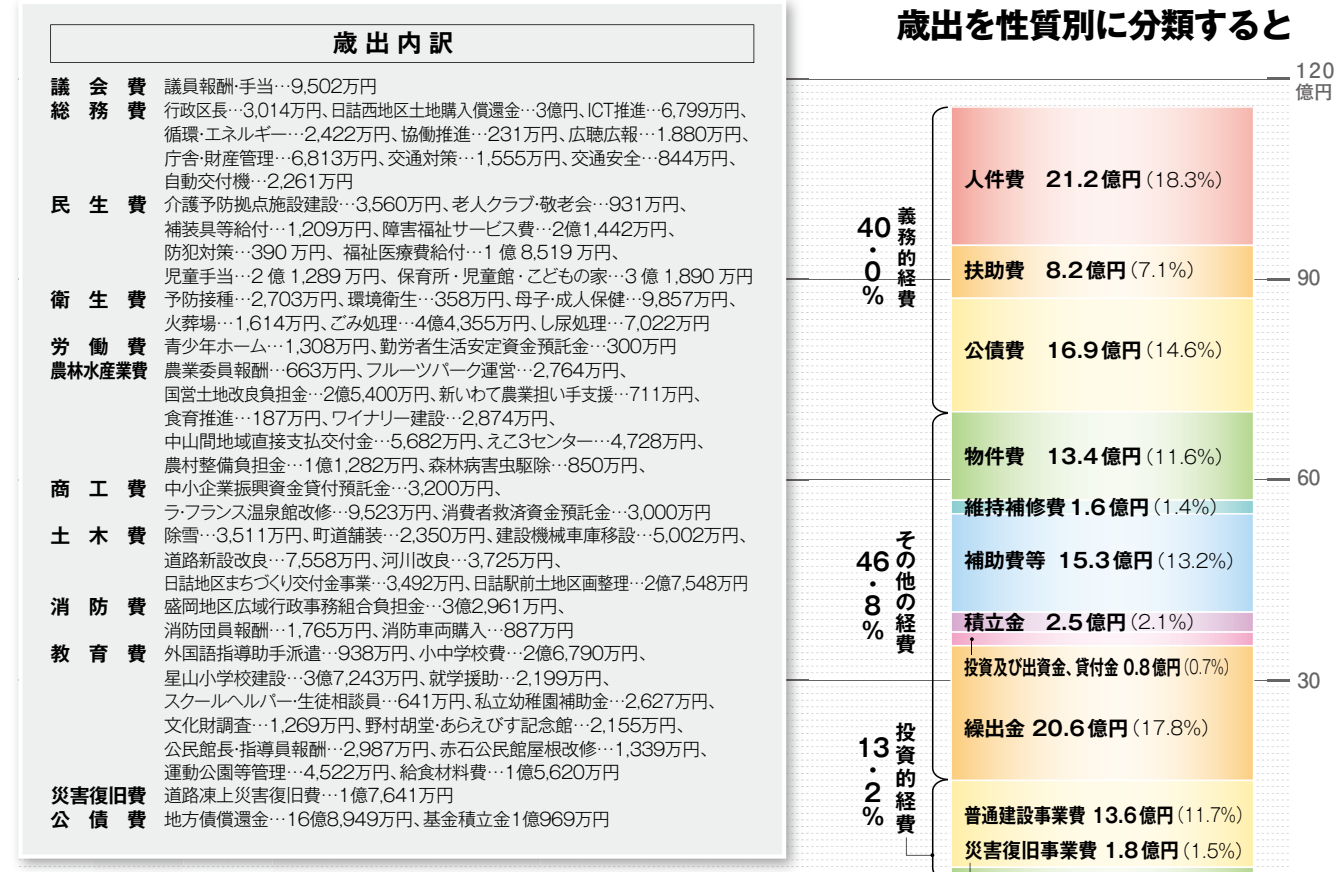
地方交付税をはじめとした町の歳入は、平成12年度のピーク時と比べ

10億円も減少しています。このような厳しい状態を乗り切るため、町では、平成16年度に「自立計画」を策定し、今後訪れる町債償還などによる赤字を回避するためのプログラムを実行しています。

平成18年度特別会計・企業会計決算総括表

会 計 名		歳 入	歳 出	一般会計からの繰入金	(割合)
特別会計	公共下水道事業	14億6,403万円	14億4,418万円	6億9,117万円	47.2%
	農業集落排水事業	12億8,563万円	12億7,219万円	3億2,694万円	25.4%
	管理型浄化槽事業	1億3,766万円	1億3,754万円	60万円	0.4%
	国民健康保険事業	31億2,315万円	29億2,229万円	1億8,599万円	6.0%
	老人保健	29億4,253万円	29億4,083万円	2億4,830万円	8.4%
	介護保険事業	17億1,399万円	16億2,475万円	2億2,130万円	13.0%
	介護予防サービス計画事業	330万円	329万円	0	0.0%
	日詰西地区土地取得事業	3億3,262万円	3億3,261万円	1,368万円	4.1%
	合 計	109億9,031万円	106億7,768万円	16億8,798万円	15.4%
企業会計	水道事業	収益的収支	6億6,068万円	6億2,346万円	
		資本的収支	1億3,286万円	3億4,243万円	

歳出を性質別に分類すると



国民健康保険と老人保健の推移

少子高齢社会の現代は、さまざまな問題が生じています。町の国民健康保険(国保)と老人保健も例外ではありません。過去5年間の医療費や国保・老人保健の推移をご覧ください、今後の方向性を一緒に考えてみましょう。



医療費増加

家計も町も負担増

皆さんが病院にかかるとき、その医療費の一部分を支払うだけで医療を受けることができますが、残りの医療費については、加入保険(国民健康保険)が負担しています。

近年、医療の高度化と高齢化の進行により医療費は増加傾向にあり、家計に占める医療費の割合と国民健康保険(国保)が負担する医療費が増加。その結果、国保財政の運営はますます厳しくなっています。

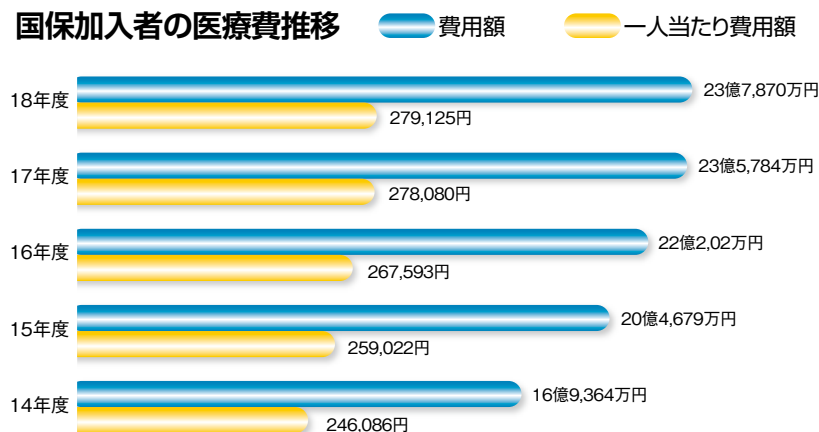
町が負担する

あなたの医療費

老人保健で医療を受けている皆さんの医療費も年々増加しています。皆さんが窓口で支払った残りの医療費は、加入保険(国保・社保など)や税金(国・県・町)で賄っており、年々財政が厳しくなる一方で負担は増えている状況にあります。



国保加入者の医療費推移

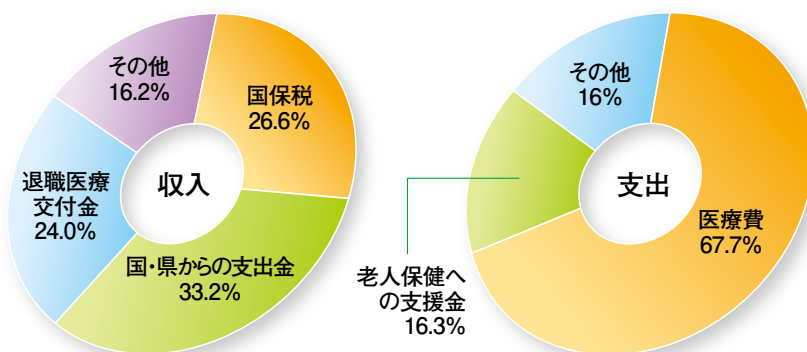


75歳未満の国保加入者の医療費は、14年度から18年度までの5年間で6億8千万円増え、国保加入者一人当たりの医療費も3万3千円増加しています。

**医療費 一人3万3千円増
合計6億8千万円増**

国民健康保険の推移

国民健康保険税の収支状況(18年度)



国保加入者の皆さんに納めていただいている国民健康保険税は、国保財政全体の約27ポイントを占める大きな財源となっています。

**国保の財源は
国保税が3割**

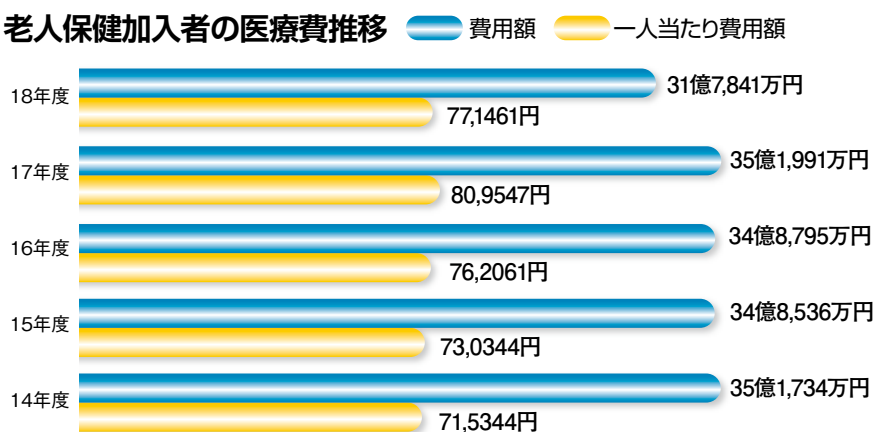
老人保健の推移

高齢者が増え

医療費も増加中

老人保健は14年10月から受給対象年齢が75歳に引き上げられました。受給者の高齢化が進み、一人当たりの医療費が増加しています。

老人保健加入者の医療費推移



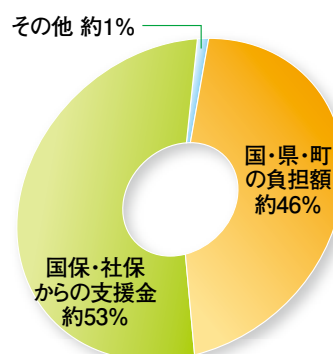
老人医療費の財源

これまでの歳入と

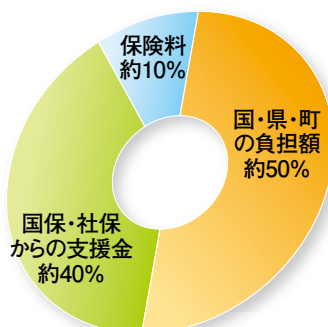
これからの歳入

これまでは皆さんが窓口で支払った残りの医療費を税金と国保・社保の保険料で賄っていましたが、**20年4月**から新たな「**後期高齢者医療制度**」が始まり、「後期高齢者医療」の保険加入者(75歳以上)に保険料約1割を納めていただくことになります。

老人医療費18年度歳入



20年度からの歳入



高齢社会に対応する

医療制度の創設

これからも高齢者が安心して医療を受けられるように、後期高齢者の医療にかかる費用のうち、**窓口で支払う費用を除いた分を、**

・公費(国・県・町)Ⅱ5割
・現役世代からの支援Ⅱ4割
・高齢者からの保険料Ⅱ1割
として運営される仕組みとなります。

20年4月より高齢者から保険料を納めていただくこととなりますので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

環境マイスター紫波です

こんにちは。環境マイスター紫波と言います。「環境マイスター？」何のことか分かりませんよね。わたしたちは環境案内人です。と言っても平成17年度紫波町環境マイスター養成講座第1期生が、平成18年6月に講座で覚えたことを、より深めながら町民の皆さんに何らかの形で環境に関心を持ってもらおうと立ち上げたサークルです。現在2期生も会員になり総勢30人で活動しています。

昨年は町の各イベントに参加させてもらい、その中で「水の大切さ」「家庭排水にちょっと気を使って」と訴えて来ました。今年はそれにプラスして国の施策「農地・水・環境保全向上対策」の川のモニタリング・水生生物の調査を町内の色々な地区でお手伝いしています。

楽しいですよ！ 地区の皆さんや子どもたちと一緒に水に入り、いないであろうと思っていた生物を確認した時とか、ヤマメやドジョウを捕まえた時などは、みんなすっかり童心に返っています。しかし、汚れている川に行った時はこれ以上汚くしないようにと、みんなで確認して帰って来ます。

わたしたちも少しずつですが、いわゆる二本足で立てるようになって来ました。現在3期生が勉強の最中です。皆さんも決して難しいことは無いので、ちょっと環境に興味のある人は会に入りみんなと一緒に勉強しながら、子や孫に今より良い環境を残していきませんか。

環境マイスター紫波

環境マイスター紫波

- ◆団体名 環境マイスター紫波
- ◆所 在 環境・循環PRセンター内
- ◆会 員 30人

- ◆設 立 平成18年6月17日
- ◆会 長 佐々木光春
- ◆問合せ 環境・循環PRセンター
(紫波みらい研究所) ☎671-2244



みんなで豊かな森への第一歩を踏み出しました



来年はどれぐらいに成長してるかな？

私たちは、今後もみなさんのご協力をいただきながら、自然との共生を考える森づくりを行っていきます。

また、お昼には参加者が持参したおにぎりとおぐりちややの豚汁を食べながら、細川栄子代表の食育の話を聞き、生命の大切さを学びました。

また、来年のためにコンニャクの絞りかすで作った苗木ポット（生分解性プラスチック）にミズナラやクヌギのどんぐりを植えると、誰からともなく「育つのが楽しみだね」との声。

五十人の参加者は、現在育てている木のマップとこれからどのような森を作っていくか設計図を作り、百二十本のミズキやどんぐりから育てたクヌギを植えました。動物だけでなく、人も憩えるような森にするためです。

十月十三日、NPO法人紫波みらい研究所では、町から委託を受けて、「木の実ば動物に、用材は人に」をテーマに参加者を募り、山王海地区の『平成の森』で植林を行いました。

『自然との共生を考える』 「平成の森で共生植林」



「レジ袋減らし隊」にご協力ください うさぎのマークが目印です!!

全国の生活学校、全国地域婦人団体連絡協議会、(財)あしたの日本を創る協会や関係諸団体では、七月から十二月までの六カ月間で、全国で三千万枚のレジ袋削減を目指し運動を展開中。町でもこの運動に協力しています。



◆取組方法

①「レジ袋減らし隊」協力店舗で買い物をします。

②レジ袋を断り専用スタンプカードに店舗からハンコやサインをもらいます。(ハンコやサインをもらえないときは、自分でハンコをついても構いません)

③ハンコやサインが三十個たまったらカードを回収ボックスに入れます。

◆回収ボックスは、ナックス、ロッキーマックス、環境・循環PRセンター(紫波中央駅北側)、役場本庁舎1階ホールに設置しています。

◆取組期間 十二月末まで

◆協力店舗(順不同)

紫波町商工会スタンプカード加盟店

ナックス、フレッシュタモリ、産直店舗、

なんバザホール、本の

くずおか、ホームマック

紫波店、ジョイスロッ

キー紫波店、サンクス

紫波桜町店

◆問合せ 循環政策課

☎(672)2111

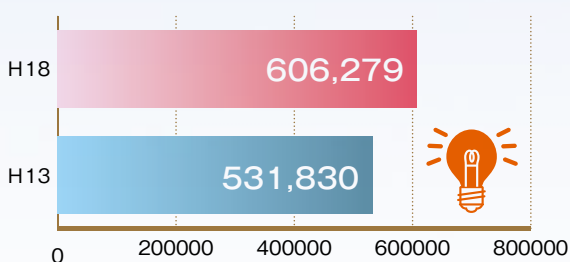
内線3512・3513

役場のエコオフィスの取り組み

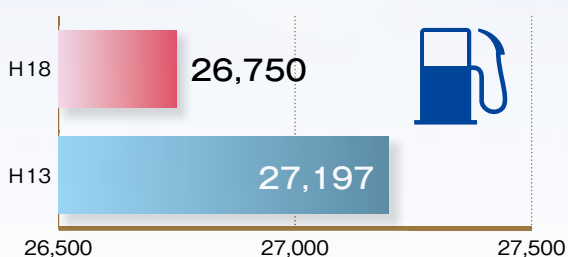
役場では、地球温暖化防止対策の一環として、「紫波町エコオフィス推進実行計画」に基づき、環境負荷の低減に努めています。下表は役場本庁舎をはじめとする町内の計画推進施設における年間の電力や燃料など、エネルギーの消費状況を示したものです。

平成13年度のデータを基準として平成22年度までに12%削減することを目標に省エネに努力しており、パソコンやエアコンの整備によって消費量が増加した電力以外は目標に向けて改善されています。環境にやさしい街づくりを目指し、今後一層、環境活動に取り組んでいきます。

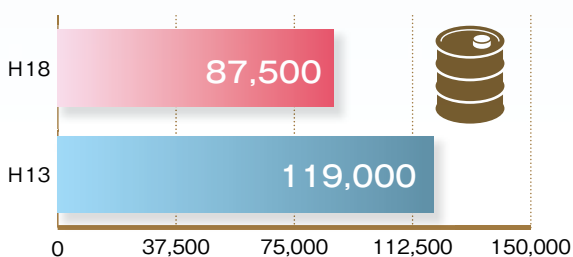
■電力[kwh] (照明、パソコン、エアコンなど)



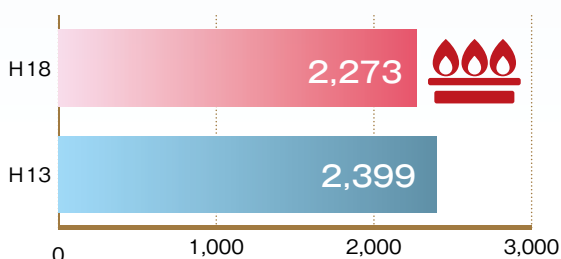
■灯油[l] (ストーブ)



■重油[l] (ボイラー)



■LPG[m] (給湯ガス、調理ガス)



紫波三中生が収穫の喜び実感 新米は東京で販売実習

紫波第三中学校では、二年生全員が一年を通じて米作りにかかわる総合学習を実施しています。

この日は黄金色に色づいた六アールの田んぼで稲刈りが行われ、生徒たちは手伝いに来た祖父母などから指導を受け、稲をかまで刈り取り「はせがけ」するまでを体験しました。収穫したヒメノモチは、十一月に修学旅行で訪れる東京「銀河プラザ」で、生徒たちが自ら販売する予定です。



刈り取った稲の束ね方を教わる生徒たち

9/27

吉里吉里小児童がホームステイ 上平沢小・片寄小と交流23年

紫波町大槌町ふるさと交流学習会が志和地区で行われました。上平沢、片寄の両小学校と大槌町吉里吉里小学校が、夏は大槌町、秋は当町で行う恒例行事。吉里吉里小の児童らは、同町各児童の家に宿泊し、リンゴ狩りや稲刈り体験を通じて交流しました。異なった環境の家庭に宿泊しながら両町の特色を理解することで、それぞれの町や家族を見直すきっかけにするために開催され二十二年目です。



片寄の川村リンゴ園で70人の児童が収穫体験

9/29

「紫波自醸ワイン」仕込み順調 夏の天候良く糖度高め

紫波フルーツパークでは、来年発売する紫波自醸ワインの仕込み作業が始まりました。

この日行われたのは、除こう破砕といって茎を取り除いて実をつぶしタンクに入れるまでの作業。醸造主任の高橋喜和さんは、「夏の気温が高かったので糖度が上がり全体的に良いでき」と説明。今年六品種を主体に仕込み、来年4月以降に五万本の販売が見込まれています。



茎を取り除く作業。一房ずつ人の目で状態を確認する

10/1

犬と一緒にマナーアップ運動 忘れないで散歩道の後始末

古館保育所の年中・年長児童約六十人は、同所に通う児童の母親など愛犬家の有志がこの日のために結成した「キラキラの会」の協力で、「犬との触れ合い清掃活動」を実施し動物愛護の心を学びました。

児童らは、ドーベルマンやニューファンドランドなど十匹の犬をなでるなどして触れ合い、犬の飼育のマナー向上を啓発する目的で、地域住民が普段犬の散歩に使う道路清掃を行いました。



小さなごみも見逃すまいと懸命に探す児童

10/1

人をつなぐ店「おせっかい」誕生 紫波中央駅前に住民たちで開店

紫波中央駅に日用雑貨や食品を扱うなんでも屋「おせっかい」が開店しました。近所に食料品店が無く不便を感じていた同駅前の住民たちが自ら立ち上げたお店で、日詰商店街と町内農家から商品を仕入れて販売するほか、お茶やコーヒーを用意し地域コミュニティの場としての機能を備えているのが特徴です。代表の菅沼セツ子さんは、「お散歩がてら気軽に訪れて欲しい」と呼びかけています。



みんなの願いが現実となり、スタッフの表情も明るい

10/8

自分で育てたサツマイモは格別 親子農業体験教室が収穫祭

紫波町農村青年クラブ主催による親子農業体験教室は、今年最後の収穫となるサツマイモ掘りを終えて収穫祭を行いました。

参加した親子らは、一家族五、六キログラムを収穫し、みんなで焼きいも作りを体験。会員が準備した芋の子汁と一緒に秋の味覚を満喫しました。参加者からは、「子どもが野菜に興味を持ってくれました」「お米作りも体験したい」という声が聞かれました。



アツアツの焼きいもをほお張る参加者

10/14

すもう大会通じて健全育成 佐比内で防犯イベント

佐比内地区防犯協会（藤井秀男会長）は、熊野神社例大祭に合わせ、お祭りの恒例行事となった防犯わんぱく相撲大会を同境内で開催しました。二十三回目となる今年は例年交流のある星山小学校の参加が無く、佐比内小学校の三年生以上の男子全十八人で対戦。四、五年生の部で優勝した金田一佑真くんは、「普段から不審者について行かないように注意している」と話していました。



地域の人々が見守る中、お互いに譲らない大一番

10/14

赤沢小児童が昔の暮らし学ぶ かつての道具で脱穀体験

赤沢小学校の四年生十二人は、赤沢郷土資料館の調査員と赤沢公民館の協力で、同資料館に保管しているカラハシ、センバコキ、唐箕、木摺臼などの道具を使い、昔ながらの脱穀を体験しました。

昔の暮らしを学ぶ社会科の授業として行われたこの脱穀体験は、児童らはもちろん、調査員も初めて使う道具もあり、児童から「うまくできた」「すごい」という声が聞かれとても楽しそうでした。



センバコキに稲穂を引っかけてもみ米を取る作業

10/24



まんず食べよう！

食から築く紫波の未来



町が主催する「食育推進のこころ」が、十月六日（土）にナックスホールで開催され、砂田登志子さんによる基調講演と、町内で食育を実践する三人の事例発表が行われました。

基調講演

「楽しく食育・幸福は口福から」

講演で砂田さんは、子どもが楽しめる指導をすることが大切とし、成績が良くて褒める親がいても健康について褒める親が少ないと指摘。「子どもが食に関心を持ったら褒めてやってください」と提唱しました。教育方法の一つとして、「食」という漢字は「人を良くする」、食が悪くなると「ショック」を受けるとし、しゃれっ気も効かせ、漢字の中にはいろいろなメッセージが含まれていると持論を展開しました。また、野菜に顔を描いたキャラクターを使ったり、海外のポスターや、自ら作った野菜キャラクターの人形などを紹介し、言葉が理解できない年齢から楽しませて導く食育学習を勧めていました。



プロフィール

砂田登志子(すなだとしこ)氏 富山県出身。世界各地の食育を取材してきた経験を持ち日本における食育活動のバイオニア。内閣府「食育推進会議」専門委員を始め、食や健康に関する委員を多く務めている。

食育事例

■佐々木和子さん

(赤石生活学校代表)

大家族で育った昔の食卓を振り返り、テレビ



がないためたくさん会話をしていたことや、兄弟でかかずを分け合い我慢することを覚えたことなど、食卓で人間関係を自然に身につけたことを紹介しました。

■根子匡さん

(農村青年クラブ代表)

親子農業体験教室の様子をビデオで紹介しました。参加者同士が楽しく話



す姿や、たくさん笑いの声が聞こえ、農作業を通じて明るい雰囲気親子がふれあう様子を伝えました。

■根澤倫子さん

(学校給食センター栄養士)

給食に郷土料理や地元食材を提供するなど、献立を通じて食育を実践。また、インターネットを通じて食材生産者や給食セン



ターと子どもたちが交流する給食ブログ「食育ネット」を紹介しました。

砂田さんが、顔の付いた野菜の形をたくさん服に付けているのは、食育を楽しく指導する工夫でした。社会の乱れは食の乱れから来るといふ砂田さんは、食育は赤ちゃんの時から始まると訴えており、家庭での食育の大切さをあらためて認識した基調講演でした。

食育標語コンクール入賞作品の紹介

【子ども部門】

○最優秀賞

長岡小学校一年 坂本 陸



あさごはん おいしいかおり いじめだめ

○優秀賞

朝ごはん 片寄小学校五年 杉浦 卓

○佳作

朝ごはん しっかり食べて レッツGO！

○佳作

朝ごはん 母の愛が つまってる

○佳作

あさごはん みんなでたべれば こころのごはん

○佳作

ああうまい！ かぞくいっしょのあさごはん

【大人部門】

○最優秀賞

二日町 星川 静香



ごちそうさま！ 命を育てる 朝ごはん

○優秀賞

朝ごはん 健康託し 家族の輪

○佳作

朝ごはん 平 沢 尻引美和子

○佳作

家族の和 しっかり繋ぐ 朝ごはん

○佳作

「いただきますあなたの笑顔も 朝ごはん

○佳作

一日の 元気の素は 朝ごはん

「ジュースの糖分」

Q 子どもが食事で野菜を食べないので、市販の野菜ジュースを飲ませています。野菜の代わりになりますか？

A 野菜ジュースは、加工時の加熱処理などで栄養成分が変化していることや、野菜を搾ったときに残る搾りかすに食物繊維が多く含まれているため、野菜を丸ごと食べるときと同じようには栄養成分を摂取できません。家庭で野菜ジュースを作るときは、食物繊維もそのまま飲むようにしましょう。

甘い飲み物でよく飲むもの ～平成18年度健診アンケート結果から～

1位	100%ジュース
2位	野菜ジュース
3位	スポーツ飲料
4位	乳酸菌飲料

「100%」「野菜」などの表示があると体にいいものと思いますが、実は糖分が多く、添加物などが入っているものもあります。糖分はエネルギー源として大切な栄養素ですが、虫歯や肥満、偏食などの原因の一つとして、ジュース類の飲み過ぎが影響していることもあるので気をつけましょう。

ジュースの糖分量を砂糖に換算して、スティックシュガー(1本3g)の本数で表しました。

清涼飲料水 (500ml)	野菜ジュース (200ml)	乳酸菌飲料 (80ml)	100%ジュース (125ml)
糖分量25g 8.3本分	糖分量17.4g 5.8本分	糖分量14.2g 4.7本分	糖分量13.5g 4.5本分

問合せ 長寿健康課 健康推進室 ☎672-4522 有線01-8991

町の
栄養士が
お伝え
します

健康レシピ

食は、元気はつらつの源
～毎食1品は手作り料理を食卓に～



【ポイント】 全体をよく混ぜて食べてください。

「もずくサラダ」

～家庭にある野菜と惣菜を組み合わせた食べ方～

もずくは低カロリーで食物繊維を多く含み、腸の動きを促す作用があります。ワカメや昆布なども同じ働きがあります。

【材料 (6人分)】

玉ネギ…1/2個、キュウリ…1本
ニンジン…2cm、トマト…2個
オクラ…2本、味付けもずく…
150g、ミョウガ…2個

【作り方】

- ①玉ネギを薄くスライスし、キュウリも薄い輪切り、ニンジンはすりおろし、トマトはくし型に切る。オクラは熱湯で茹でてから輪切りにする。ミョウガはせん切りにして、水にさらす。
- ②皿に玉ネギとキュウリ、ニンジン、トマトを盛りつける。
- ③もずくとオクラを混ぜて、②にかけ、ミョウガを散らす。

【レシピ提供…紫波町食生活改善推進員協議会 彦部地区会員 川村八重子】

「うす皮和風巻き」

～親子で手作りおやつに挑戦してみませんか？～

小麦粉やそば粉、小豆、かぼちゃなど、地元食材を使った簡単おやつを紹介します。

【材料 (生地 各4枚分)】

【小麦粉生地】 小麦粉…100g
塩…ひとつまみ 水…180cc、
あん…150g (市販品でも良い)
くるみ…少し
【そば粉生地】 そば粉…100g
塩…ひとつまみ、水…180cc、
カボチャ…300g、砂糖…大さじ2
塩…ひとつまみ

【作り方】

- ①粉と塩を混ぜ、水を少しずつ加えて滑らかに混ぜる。
- ②カボチャは蒸して、皮を取り除いてつぶし、砂糖と塩を混ぜる。
- ③フライパンを熱して油を薄く引き、生地を薄く円形に流し、表面が乾いてきたら裏返す。
- ④焼けた生地にあんをのせ、端からくるくる巻いて、しばらくなじませる。
- ⑤食べやすい大きさに切って出来上がり。



【ポイント】 カボチャの味をみて、砂糖の量を加減してください。

【レシピ提供…紫波町食生活改善推進員協議会 水分地区会員 高岡克子】

第8回 X'mas手作りフェスティバル2007

手作り作品を展示・販売します。体験コーナーやさまざまな分野の手作り作品が会場いっぱい集合します。毎年好評の大抽選会もあります。入場は無料です。

- ◆日 時 12月1日(土) 午前10時～午後5時
- ◆会 場 ナックスホール
- ◆問合せ ViVid LIFE(畠山) ☎090-9033-6178

いわてリハビリテーションフォーラム

このごろ、食事の時にむせたりしませんか？飲み物を飲む時は飲みにくさを感じませんか？症状のある人もない人も、お気軽にお出かけください。

- ◆日 時 12月2日(日) 午後1時～
- ◆会 場 アイーナ 7階「アイーナホール」
- ◆内 容 講演 「いつまでも楽しく食べるために」
講師 五島朋幸先生

相談展示コーナー(看護師、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、栄養士などが対応します)

- ◆問合せ いわてリハビリテーションセンター ☎692-5800

さんさ踊り団体の募集

来年3月、町の姉妹都市オーストラリア・スタンソープで開催される「アップル&グレープフェスティバル」に参加する「さんさ踊り」の団体を募集します。このたびの募集についての説明会を下記により開催します。

- ◆日 時 12月2日(日) 午前11時～正午
- ◆会 場 役場第1会議室
- ◆要 件 地域活動として取り組んでいる町民の団体
- ◆問合せ 総務課 総務文書室 ☎672-2111
内線3121・3122

「ロシア料理教室」参加者募集

紫波町国際交流協会では、恒例の海外食文化体験事業として、ロシア料理教室を開催します。どなたでも参加できますので、お申し込みの上お出かけください。

- ◆日 時 11月23日(金) 午後4時～
- ◆会 場 赤石公民館
- ◆会 費 一人 1000円
- ◆問合せ 総務課 総務文書室 ☎672-2111
内線3121・3122

元気はつらつ 冬季水中運動教室
参加者募集(初心者大歓迎)

冬場の運動不足を解消するため、みんなで楽しく水中運動をしませんか。(定員25人)

- ◆日 時 11月30日～3月7日 毎週金曜日
(12月21日～1月18日を除く) 全10回
午後1時30分～3時
- ◆会 場 ラ・フランス温泉館プール
- ◆参加費 1回100円と別途プール代
- ◆申込み・問合せ 長寿健康課 健康推進室
☎672-4522 有線01-8991

青色申告決算説明会

平成19年度分の決算説明会です。税制改正についての説明もありますので、申告が必要な人はお出かけください。

■事業所得者(農業以外)と不動産所得者

- ◆日 時 12月10日(月) 午前10時～11時30分
- ◆会 場 ナックスホール

■農業所得者

- ◆日 時 12月6日(木) 午前10時～11時30分
午後1時～2時30分
- ◆会 場 J Aいわて中央本所
- ◆問合せ 盛岡税務署 ☎622-6141(代)

紫波フルーツパーク体験工房の
新メニュー

紫波フルーツパーク体験工房では、12月2日から新メニュー(ワインとの相性がぴったりの町産そば粉を使った石窯ピザとほかほかのピロシキ)が加わります。

初日は、特別インストラクターとして、盛岡でパン洋菓子教室を主宰している小野寺恵さんをお招きします。40人限定ですのでお早めにお申し込みください。

- ◆日 時 12月2日(日) 正午～
- ◆会 場 紫波フルーツパーク
- ◆費 用 体験基本料金 大人1,050円、こども525円
- ◆申込・問合せ 紫波フルーツパーク ☎676-5301

おわびと訂正 しわネット10月号の教育振興だより彦部地区に掲載した内容で「世界チャンピオン」は「アジアチャンピオン」の誤りでした。訂正しておわび申し上げます。

もっと便利に「自動交付機」

住民票などを取得できる自動交付機が役場1階ホールに設置されて11カ月がたちます。

皆さんにもっと便利な利用をしていただくために、取得できる証明書の種類をご案内します。

■本人以外の証明書も取得できます

本人の住民票や所得課税証明書を取得できる自動交付機ですが、本人の住民基本台帳カードで家族の証明書も取得できます。

■自動交付機で取得できる証明書

○住民票の写し

本人分／家族全員分／本人以外の家族個人分

○戸籍証明書

抄本(本人分)

謄本(同一戸籍者全員分)

抄本(同一戸籍者個人分)

※除籍謄(抄)本は窓口でお求めください。

○戸籍附票の写し

本人分／同一戸籍者全員分／同一戸籍者の個人分

○印鑑登録証明書 本人分

○所得課税証明書 本人分

◆問合せ 町民課 町民窓口室 ☎672-2111
内線1422

公用車売却のお知らせ

町では、町有の車両を次のとおり売り払います。購入を希望する人は、案内期間中に総務課職員管財室で、案内書と必要書類を受領してください。

◆案内期間 11月12日(月)～12月3日(月)
(閉庁日を除く) 午前9時～午後5時

◆売払物品

物品の種類	車名	初度登録年月
普通貨物車(給食配送車)	トヨタ	平成2年6月
消防用自動車ポンプ車	ニッサン	昭和55年12月
ダンプ車	いすゞ	平成2年3月
小型乗用車(三菱ミラージュ)	三菱	平成2年6月
小型貨物車(ニッサンADバン)	ニッサン	平成4年9月

◆問合せ 総務課 職員管財室 ☎672-6867
有線01-2825

肝炎相談会

C型肝炎、B型肝炎ウイルスキャリアの人を対象に、専門医の個別相談会を開催します。肝臓の状態や、治療の内容についてお気軽にご相談ください。

◆日程 11月25日(日) 午後1時30分～4時

◆会場 保健センター

◆相談医 岩手医大第一内科 阿部弘一先生

◆申込み 11月22日(木) 正午まで

◆問合せ 長寿健康課 健康推進室 ☎672-4522

みちのく湯遊街道共通入浴割引イベント

11月26日を「イイフロの日」として、11月15日(木)から12月5日(水)までの3週間割引料金で当協議会会員の施設に入浴できるイベントを実施します。

また、スタンプラリーも同時開催し、特産品をプレゼント、豪華賞品が当たる抽選もあります。

◆問合せ 盛岡・矢巾・紫波広域観光推進協議会事務局
(商工観光課 672-2111内線3622)

アカマツ丸太を利用しませんか

町内のアカマツは、マツくい虫による被害を受け、伐倒くん蒸処理をすることで被害の拡大を防いでいる状況です。処理後のアカマツ丸太を希望する人には、無料で提供しますので下記によりお問い合わせください。

◆提供する木

(材)：アカマツ丸太 (長さ)：1メートルの玉切木
(太さ)：10～50センチ(本数に限度あり)

◆利用例 お庭への椅子材、花の鉢ポット、庭の仕切り材、ストーブ燃料の薪材など

◆配布手順 一定の本数を集約し、翌月に引渡しの場合所と時間をお知らせします。

◆問合せ 農林課 農業振興室 ☎672-2111
内線3332

不来方高校音楽部 クリスマスコンサートinあらえびす

入場を希望する人には、11月20日(火)から整理券を記念館受付にて配布します。(定員35人)

◆日時 12月2日(日) 午後2時開演

◆会場 野村胡堂・あらえびす記念館

◆問合せ 野村胡堂・あらえびす記念館 ☎676-6896

奥州藤原氏と文化の糸で結ばれた歴史ある神社

町の東部、赤沢小学校を東に一キロほど進むと、ブドウ畑の中に鳥居が現れ薬師堂があります。さらに奥には二百二十段の階段が見え、そこを上りきると樹齢千年以上といわれる巨大な御神木に守られた白山神社と神楽殿があります。

白山神社は延暦二十二年（八〇三年）、坂上田村麻呂が蝦夷を鎮めるために建立した神社と伝えられ、ふもとは鎌倉時代末期に建てられた石卒塔婆（石碑）が立ち並んでおり、その一つが藤原経清の母の墓という言い伝えがあります。

紫波町史ではこの石碑郡について、石碑を建てる思想を指導する僧侶がいたことを意味し、寂靜山蓮華寺というお寺が白山神社の別当寺としてこの地で仏教の中心的存在であったのではないかと記しています。

白山神社の社家として三十六代にわたり神主を務める遠山家の家伝によると、文明二年（一四七〇年）三月、長岡氏と大迫氏の戦いで神社周辺は焼き払いを受け建物や書物を消

失し、その後、言い伝えを書き記したということですが、平安時代（一〇九四年）に藤原清衡が阿弥陀堂と法昌山華蔵寺を建て、孫の藤原秀衡も社殿を再建したほかに領地五十町歩余りを寄進し、毘沙門堂や薬師堂を建てたとあります。

藤原氏以後の斯波氏や南部氏もこの神社を深く信仰し、社殿の修造や社領の寄進があったとしています。これらの言い伝えを裏付けるものとして、薬師堂には平安時代後期に作られたと推定される県指定文化財の木造七仏薬師如来立像が安置され、また、同地区の正音寺には、かつて蓮華寺にまつられていたとされる同じく県指定文化財の毘沙門天立像と四体の明王立像が安置されており、いずれも藤原氏の時代に作られた仏像と推定されています。

世界遺産登録に向けて活発な動きを見せる平泉と町は、藤原氏の時代に少なからずかわりを持っていたようです。いくつかの言い伝えが残る白山神社に、皆さんも一度訪れてみてはいかがでしょうか。



白山神社 —旧白山権現社—



- ① 車道から見える最初の鳥居
- ② 藤原経清の母の墓とされる石碑
- ③ 木造七仏薬師如来立像(県指定文化財)
- ④ 毘沙門天立像(県指定文化財)

⑤ 白山神社本殿（中央）と神楽殿（右）